
広島県における 中高一貫教育の在り方について

(次回論点メモ)

平成25年7月16日
教 育 委 員 会

目指すべき方向

- ・ 本県高等学校においては、知識基盤社会の到来、社会・経済のグローバル化の進展、少子・高齢化、環境問題など、現代社会における様々な課題に対応し、社会の持続的な発展に寄与する人材を育成する。
- ・ 中高一貫教育校においては、グローバル社会を牽引するリーダーを育成する。

■ 中高一貫教育校とは

中高一貫教育校は、中等教育の多様化を一層推進し、生徒や保護者の学校選択の幅を広げるため、平成11年に制度化された学校である。

◆ 中高一貫教育校の利点

- ・ 入学試験の影響を受けず、6年間の計画的・継続的なカリキュラムの編成により一貫した教育指導が展開できる。

◆ 中高一貫教育校の3つの形態

- ・ **中等教育学校**
一つの学校として、6年間一体的に中高一貫教育を行う。
- ・ **併設型の中学校・高等学校**
同一の設置者による中学校と高等学校を設置し、高等学校からの入学が可能な形態である。
- ・ **連携型の中学校・高等学校**
市町村立中学校と都道府県立高等学校など、異なる設置者間でも実施可能な形態である。

■ 県立広島中学校・高等学校の概要①

◆ 沿革

- ・ 平成16年に広島県立で初の併設型中高一貫教育校として、また県の教育改革を進めていく上でのリーディングスクールとして東広島市高屋町に開校（入学定員は中学校4クラス・高等学校6クラス）
- ・ 建設費用は約70億円

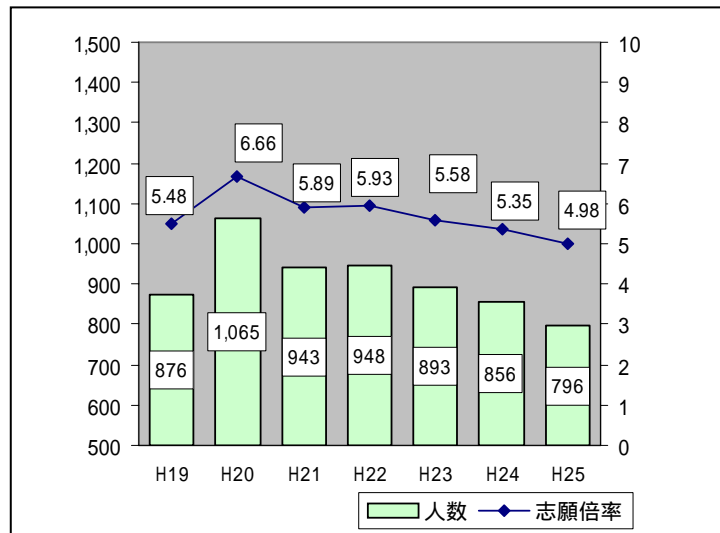
◆ 特色ある教育活動

- ・ 論理的思考力・表現力を身に付けるため、「ことばの教育」に取り組む。さらに中学校では教育課程特例校の指定を受け、必修教科「ことば科」を開設
- ・ 伝統文化の継承として、体育の授業に弓道や音楽の授業に箏や和太鼓を取り入れるなど、6年間で日本の伝統や文化を学習
- ・ 大学教育への円滑な接続として、「経済学入門」や「物理探究」などの科目を開設
- ・ 寄宿舎を利用して、夜間に広大大学院生からマンツーマンの指導を受けることができる「スクールサポーター」を実施

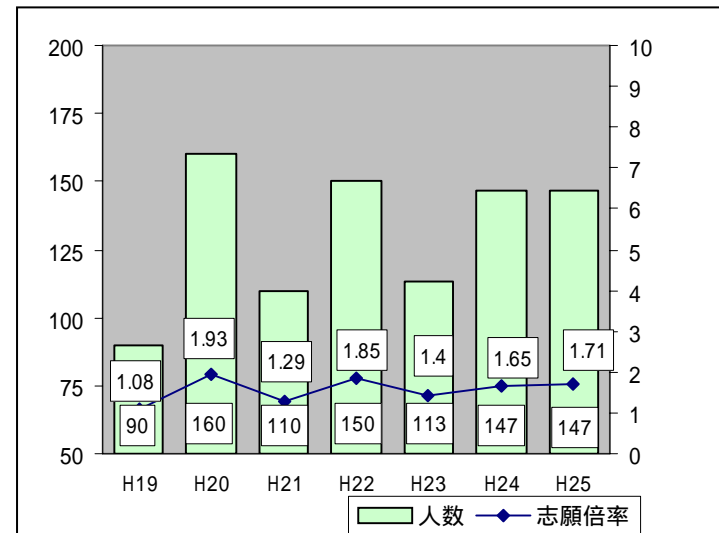
■ 県立広島中学校・高等学校の概要②

◆ 志願倍率等

➤ 広島中学校の志願倍率等



➤ 広島高等学校の志願倍率等

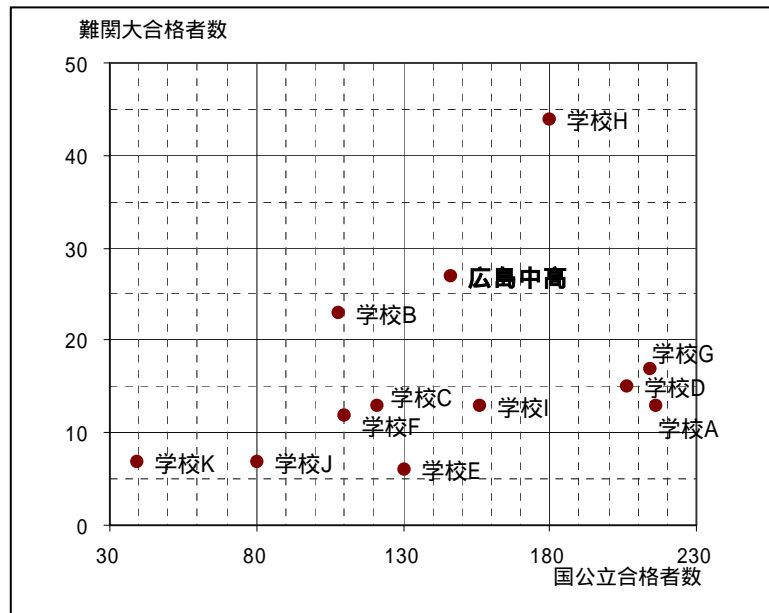


- ・ 中学校の志願倍率は、例年5倍を超え、依然として高いニーズがあるといえる。
- ・ 高校も公立学校の平均倍率が1.21倍であることから考えると、高い倍率にあるといえる。

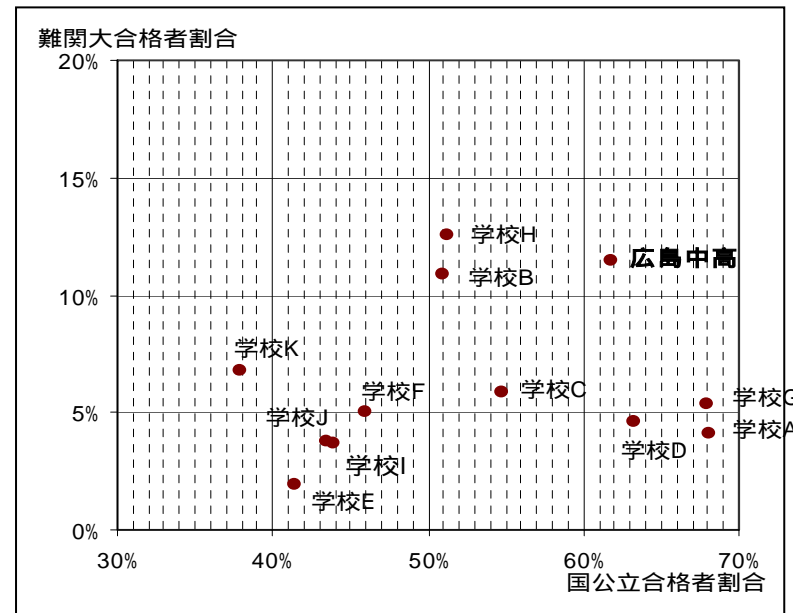
■ 県立広島中学校・高等学校の概要③

◆ 県内公立学校の難関大学現役合格者数とその割合（H25）

➤ 現役合格者数



➤ 卒業者数に占める合格者数の割合



(出典) 高校教育指導課, 各校HP

※難関大学：北海道，東北，筑波，東京，東京工業，一橋，名古屋，京都，大阪，神戸，九州の11校

・ 広島中学校・高等学校は，国公立合格者及び難関大学の合格者を多く輩出している。また，卒業者に占めるそれぞれの合格者の割合も，高い数値を出している。

■中高一貫教育校の必要性について

◆社会が求める人材

→世界で活躍できるグローバル人材（平成24. 6 グローバル人材育成推進会議）

○グローバル人材の概念を整理すると次の要素が含まれる

要素1：語学力・コミュニケーション能力

要素2：主体性・積極性，チャレンジ精神，協調性・柔軟性，責任感・使命感

要素3：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ

◆広島県における今後の高等学校教育の在り方を検討する 協議会最終報告（平成25. 3）

- ・ 県立広島中高はグローバル化に対応した教育への満足度や進学実績の目標値を達成するなど，生徒，保護者の期待に応じており，中山間地域も含め県内他の地域から設置を求める声がある。
- ・ 中高一貫教育校の新たな設置について，県内各地域の実情などを考慮しつつ，これまでの取組や成果を生かしながら，検討する必要がある。

■考えられる中高一貫教育校のモデルパターン

グローバルリーダー 育成型

- ・ グローバル社会を牽引するリーダーを育成

広島中高型

- ・ 広島中高の成果を県内に広める

地域密着型

- ・ 地域の自然や伝統文化を生かした6年間一貫教育を実施
- ・ 地域の振興にも寄与

※ 本県の実績や全国の事例を参考にすると、上記の3つのモデルパターンが考えられる。

※ 今回のテーマは、第3回経済財政会議のテーマ「グローバル人材の育成」を踏まえ、グローバルリーダー育成型に焦点を当てた内容とする。（なお、広島中高型・地域密着型については別途検討を進める。）

■ グローバルリーダーを育成する中高一貫教育校の例

	海陽中等教育学校（私学）	立命館宇治中学校・高等学校（私学）	イートン校（パブリックスクール）
建学の精神	将来の日本を牽引する、明るく希望に満ちた人材の育成	未来のグローバルリーダーを育成し、世界と日本の平和的発展に貢献	
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高潔で明朗闊達な人材の育成 ・ 基礎学力の徹底した修得 ・ 健全な身体、強靱な意志の滋養 ・ 学問の楽しさを知る教養豊かな人材の育成 ・ 日本の伝統・文化に立脚し、国際社会で活躍できる人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中高一貫教育による人間性の陶冶 ・ 世界に開かれた学校の創造 ・ オリジナリティをもつ個性の伸長 ・ 清新の気に満ちた青年の育成 ・ 優れたスクール・アイデンティティの形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独立した考えや学習に関して最善の習慣を身に付けようとする ・ 自身の才能を最大限に引き伸ばせるような幅広い教育を提供すること ・ それぞれの個性や相違点、学校・地域社会に対して尊重する心を育むこと ・ 健康、情緒的成熟、精神的豊かさを育むパストラル・ケアサポートをすること ・ 自信、情熱、忍耐力、寛容さ及び誠実さを養うこと。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中等教育学校 ・ 1学年120人（男子） ・ チューター制 ・ 1クラス20人の少人数教育を実施 ・ 全国募集 ・ ハウスでの生活を通じ、自由と規律の均衡のとれた生活習慣、独立心と協調性を持つ人間を育てる全人教育を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 併設型中高一貫教育校 ・ 中学校 1学年5学級 ・ 高校 1学年10学級 ・ 主要な教科については、20人を超えない程度で少人数教育を実施 ・ 全国募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒数約1300人（男子） ・ 1クラス20人程度 ・ 13歳から17歳までの5年間 ・ 入学審査では、適性検査、口頭試問だけでなく、スポーツやアートでの評価も大きなウェイトを占める ・ 音楽、スポーツなどを含めて幅広い知識や興味を持つ人間を育てる全人教育の伝統を受け継ぐ
進学実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外大学への進学だけでなく国内難関大学進学者も輩出している。 ・ 平成25.3の卒業生103名のうち、難関大学26名、海外大学15名（学校HP） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多数の海外大学進学者を輩出している ・ 平成25.3の卒業生345名のうち、海外大学進学者56名（学校HP） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オックスフォード、ケンブリッジ78名
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ トヨタなど有力企業の参画・支援により設立 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴代19人の首相を輩出 ・ 卒業生から莫大な寄付を募る

	海陽中等教育学校（私学）	立命館宇治中学校・高等学校(私学)	イートン校（パブリックスクール）
カリキュラム等	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領に基づいてカリキュラムを編成 ○前期課程では、英数国は公立中学の1.5倍の授業時数 ○4年次までに高校3年生までの内容を修了 ○後期課程においても全ての教科が必修 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育課程特例校の指定を受け、IBプログラム、イメージ教育を実施 ○情報化時代にふさわしい情報化教育の推進 ○課題研究、ディベートやロールプレイなど生徒自らが調査・研究・発表する授業を展開 	<ul style="list-style-type: none"> ○哲学や宗教学、美術史、演劇学なども学習 ○スポーツ、演劇、芸術、課外活動といった多岐にわたる教育内容のカリキュラムやプログラムを実施
語学 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ○3年次にイートン校、ハロウ校、ラグビー校での研修を3週間実施 ○論理性や表現力を養う教育の一環として、国際交流プログラムを実施 ○年間を通し海外からGAPイヤー生や大学生を受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ○イメージプログラムを実施 ○中学校卒業までに全員英検準2級取得を必須 ○5年次からは中国語、ドイツ語、フランス語の第2外国語を選択履修 ○長期の留学プログラムを実施 ○高校生国際会議、海外NGO視察、外国の生徒との交流事業等を多数実施 ○帰国生徒を多数受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ○英語、フランス語、ラテン語は必修 ○その他の言語を2言語選択 ○アラビア語、中国語は希望により選択可能
伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ○日本固有の伝統文化を身に付けるため、1年生から古典・漢文を学習 	<ul style="list-style-type: none"> ○能楽を学習するための講座を開設 	
寮	<ul style="list-style-type: none"> ○全寮制 ○ハウスマスター（教員免許有資格者）やフロアマスター（企業から派遣された若手社員）が生徒と共に寮で生活し学習面だけでなく心身両面から支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○寮を設置（全寮制ではない） ○ハウスマスターが親代わりとなり心身両面から支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○全寮制 ○ハウスマスターやハウスチューターが親代わりとなり心身両面から支援 ○一つの寮に異年齢の生徒が生活し、ハウスマスターを中心に自治が形成される ○問題が発生した際に寮長などが主導して解決

【論点】 広島県に必要な中高一貫教育校とは

◆グローバル社会を牽引する人材を育成するために、
広島県にはどのような中高一貫教育校が必要か。

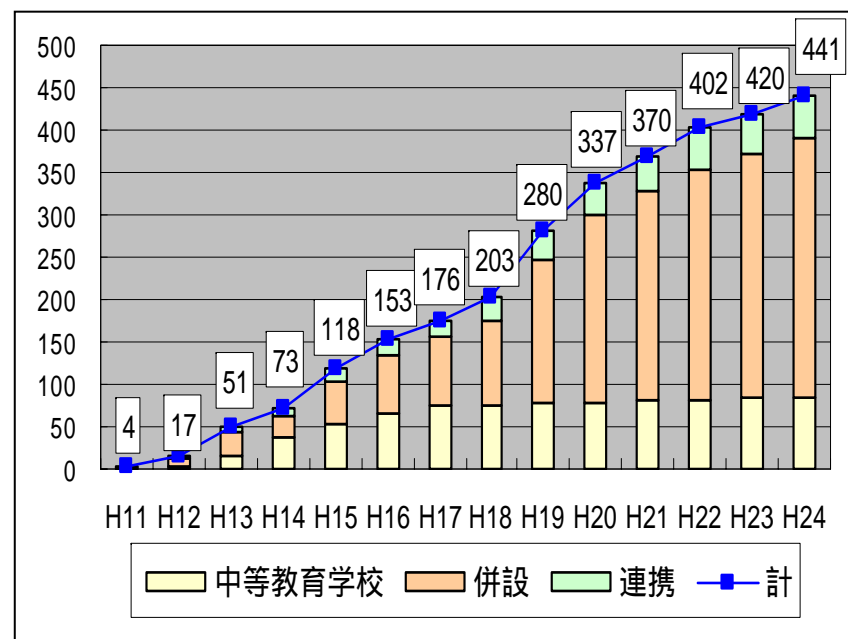
- ・ グローバルリーダーに求められるコンピテンシー
- ・ コンピテンシーを身に付けさせるための仕組み
- ・ 仕組みを実践できる人材
- ・ 生徒募集の範囲（広島県内か，全国か）

【参考資料】

- ◆全国，広島県の中高一貫教育校設置状況 P12
- ◆中高一貫教育校配置図（公立） P13
- ◆国立大学附属高等学校配置図 P14
- ◆私立高等学校配置図 P15
- ◆在り方検討協議会における中高一貫教育に関する議論 P16
- ◆学校教育法の一部を改正する法律案に対する附帯決議
平成10年5月22日衆議院文教委員会）（抄） P17
- ◆中高一貫教育校の特色，成果 P18. 19
- ◆広島県における今後の高等学校教育の在り方を検討する協議会
委員名簿，審議経過 P20. 21
- ◆コンピテンシーとは P22. 23
- ◆グローバルリーダーを育成する教育実践校の事例 P24

■全国， 広島県の中高一貫教育校設置状況

➤ 全国の中高一貫教育校の設置推移



出典) 文部科学省「高等学校教育の改革に関する推進状況について」

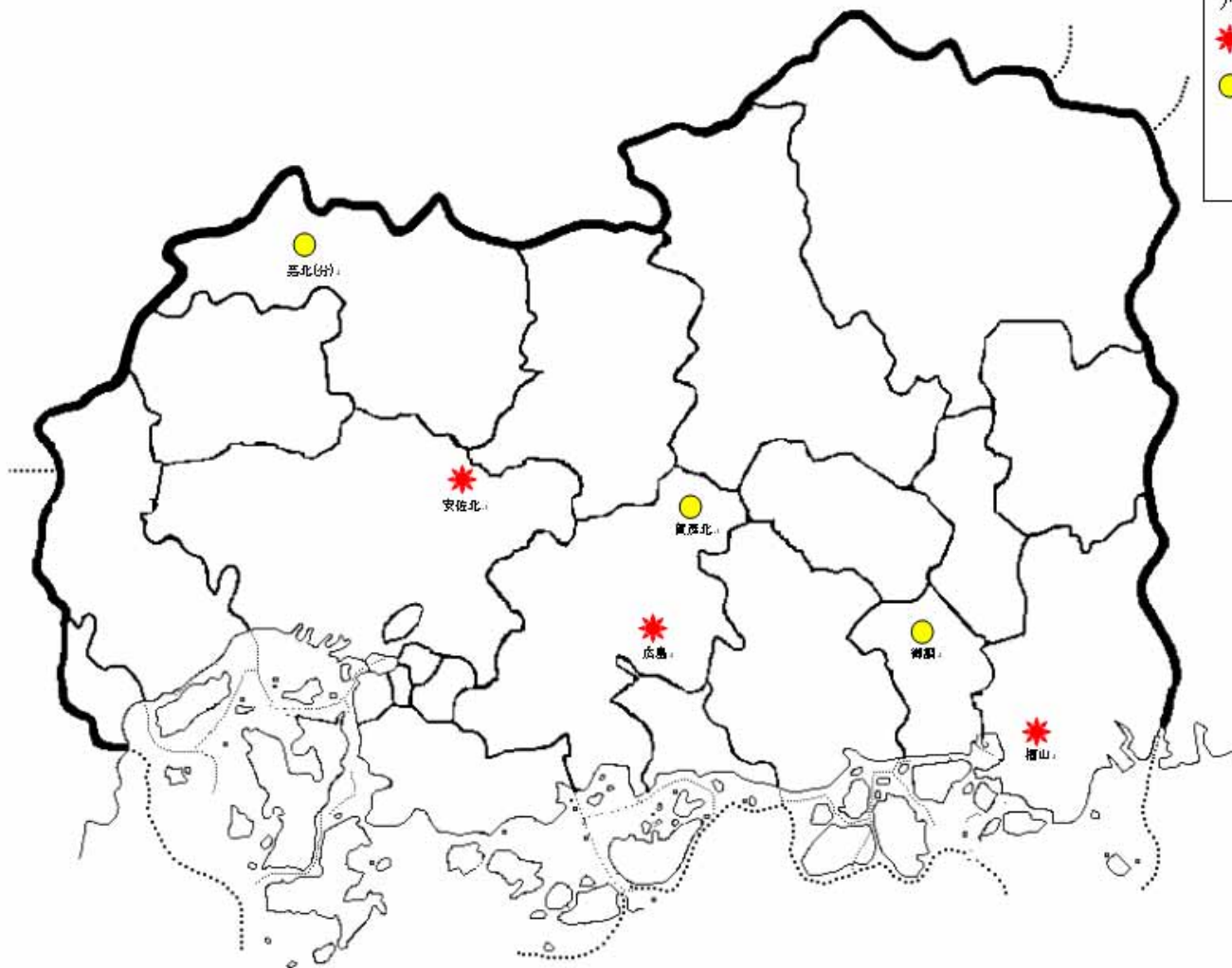
➤ 全国の設置状況

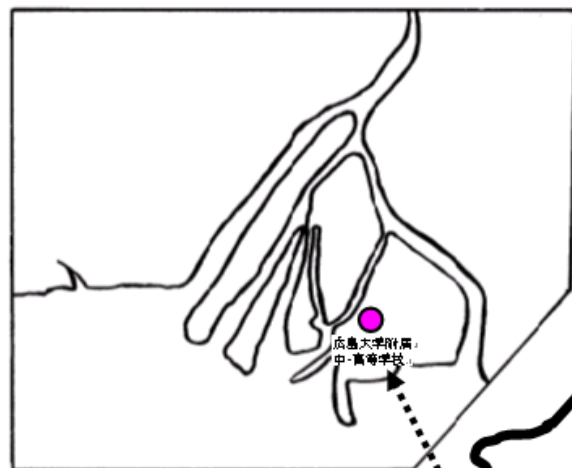
- ・ H11: 4校 → H24:441校
(国公立計)
- ・ 中等教育学校11%， 併設型70%，
連携型19%
- ・ 国立1%， 公立42%， 私立57%
- ・ 広島県の設置状況
併設型 7校 (公立 3, 私立 4 ※)
連携型 3校 (公立)

※広島県内の私立学校では中学校と高等学校の学校運営を一体化することにより， 実質的に中高一貫教育を実施している。
(中学校と高等学校が併設されている学校は24校)

中高一貫教育校配置図（公立）

- 凡例
- 併設型中高一貫校
 - 連携型中高一貫校
〈安佐北中高は平成 26 年度
入学生から中等教育学校〉



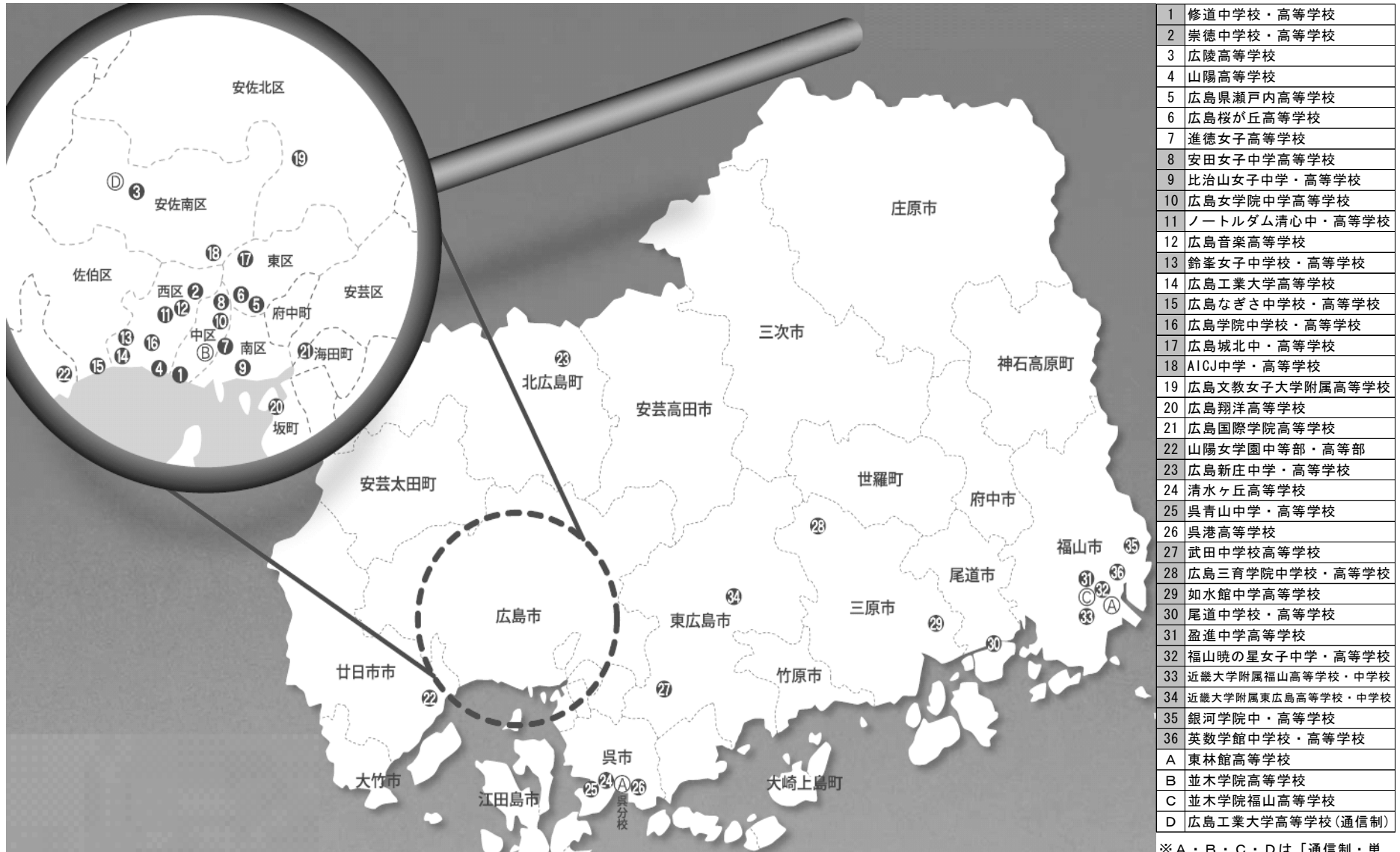


国立大学附属高等学校配置図（全日制課程）

【平成 24 年 5 月 1 日現在】



▶私立高等学校配置図（全日制課程・通信制課程）



※A・B・C・Dは「通信制・単位制高校」です。
 ※番号に網掛けしている高校は中学校を併置している

■在り方検討協議会における中高一貫教育に関する議論

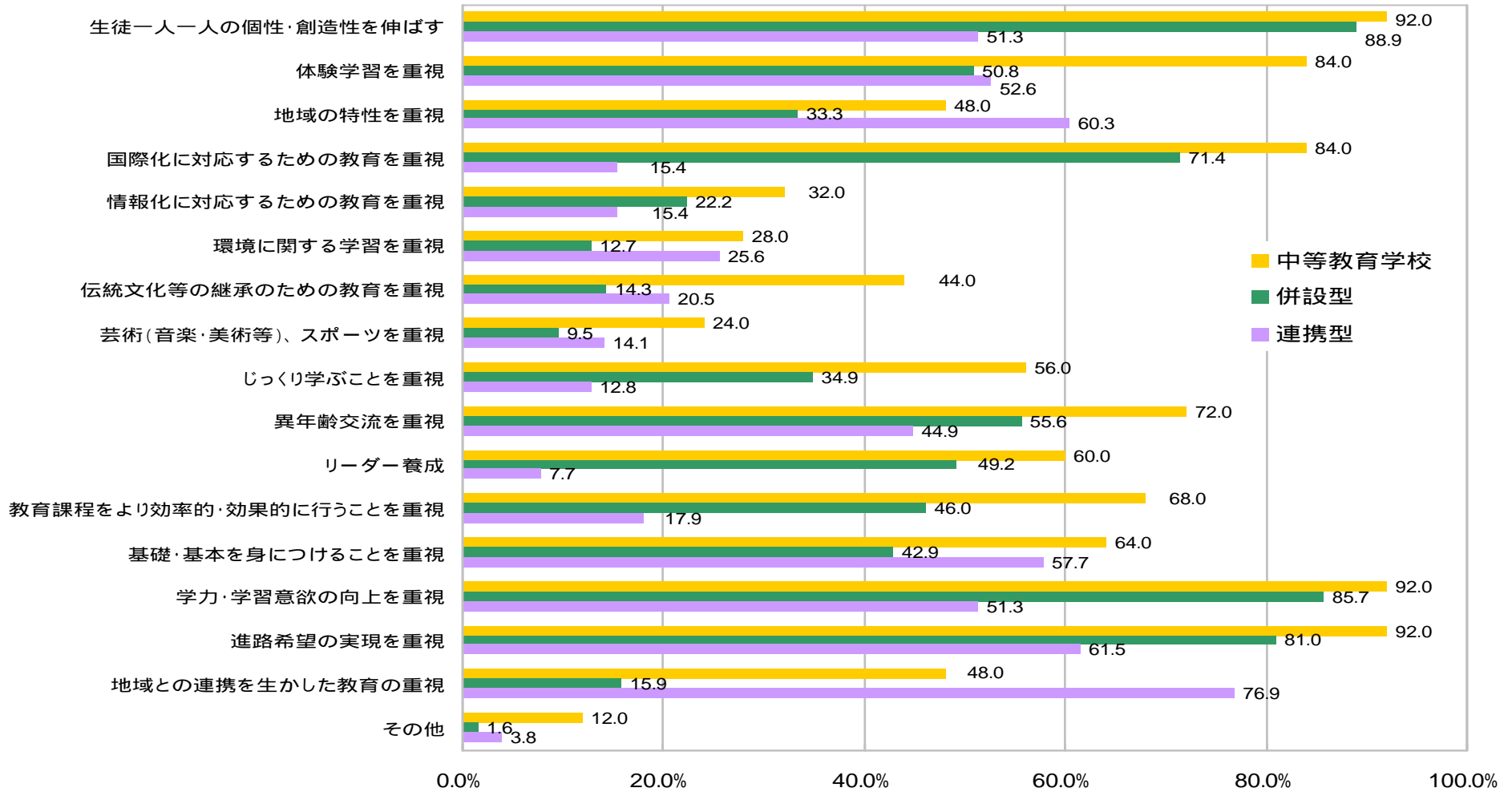
- ◆ 県立広島中・高等学校が一定の期待された成果を上げているということもあって、**県下の他の地域からも、この中高一貫教育校の設置を求める声が非常に高まっている。**
- ◆ 公立学校が中高一貫校を設置してもいいという法律が、平成10年に決定をされ、その附帯決議に、いわゆるエリート校をつくってはいけない、受験勉強の低年齢化をさせてはいけない、学力試験を課してはいけないといったものが出てきている。**しかしながら現実を考えると、いわゆるエリート校であろうし、受験勉強の低年齢化も招いているし、学力試験であろう試験を課しておられるのではないか**と思っている。
- ◆ （併設型中高一貫教育校の設置について、）私学とのすみ分けもあるし、特色を考えたときに、1校だからできること、これがそこらじゅうに新設校のようにできれば、県の財政もいろいろお金もかかるだろう。
今ある高校をリニューアルする形、あるいは併設の中高、近隣の学校との中高一貫的な連携教育、中高連携とか、今あるものをベースにつくるべきではないか。
- ◆ **中山間地域や島嶼部におけるその地域の特性を生かした、例えば産業に関わったりとか自然、あるいは芸能・文化に特化し、6年間ゆったりと学べるような中・高一貫教育もあってよい。必ずしも難関大学を目指すことだけが人生ではない。**

■学校教育法の一部を改正する法律案に対する附帯決議
(平成10年5月22日衆議院文教委員会)(抄)

- 中高一貫教育の内容は、「ゆとりのある」学校生活の中で、児童・生徒の個性や創造性を大いに伸ばすという本旨にのっとり検討され、受験準備に偏したいわゆる「受験エリート校」化など、偏差値による学校間格差を助長することのないように十分に配慮すること。
- 中高一貫教育を行う学校では、入学者の選抜に当たって学力試験は行わないこととし、学校の個性や特色に応じて多様で柔軟な方法を適切に組み合わせて入学選抜方法を検討し、受験競争の低年齢化を招くことのないように十分配慮すること。

■中高一貫教育の特色

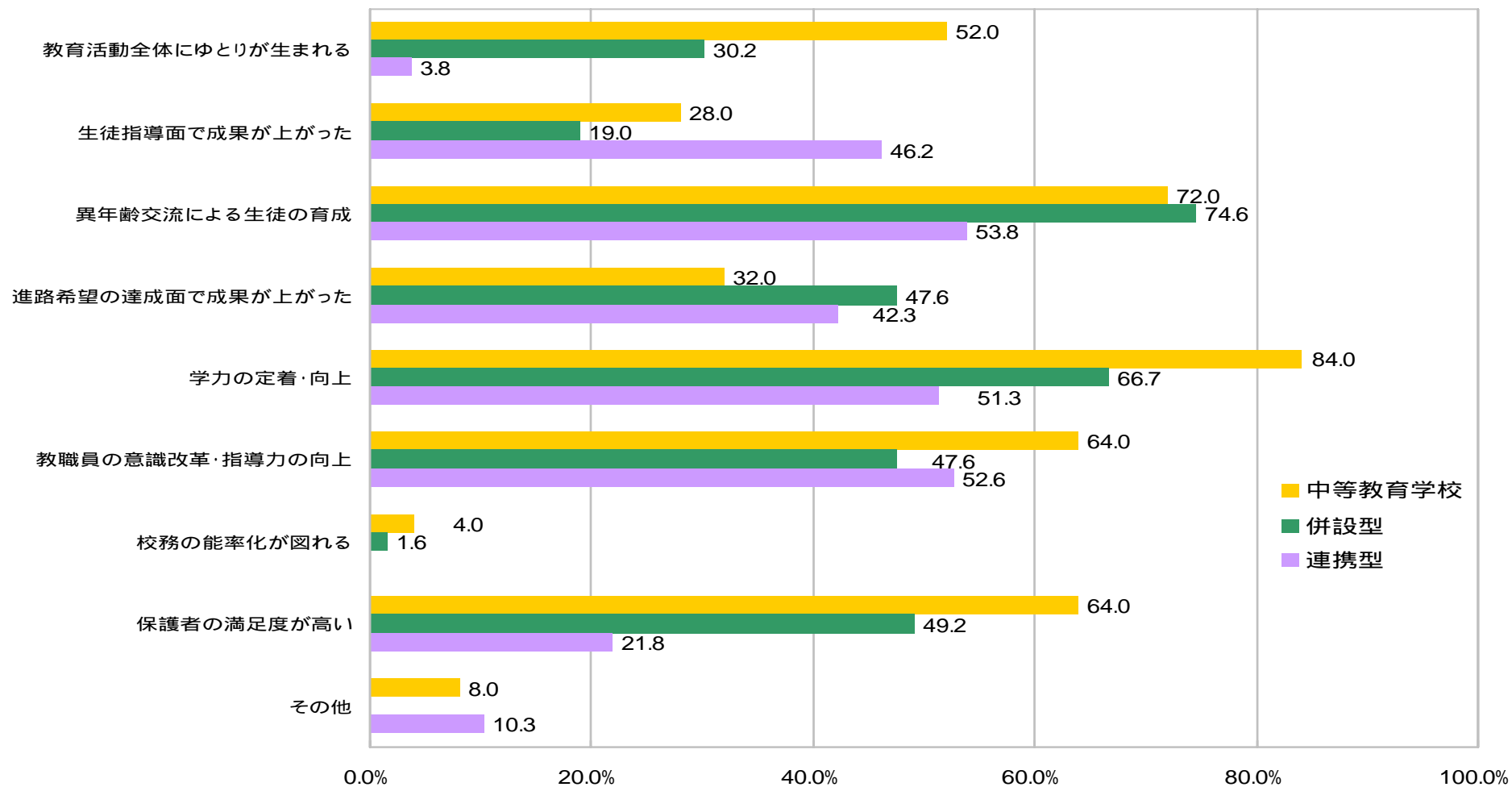
教育活動の特色について(公立)



(出典) 中央教育審議会初等中等教育分科会学校段階間の連携・接続等に関する作業部会「中高一貫教育制度に関する主な意見等の整理」(H23.7)

■中高一貫教育の成果

中高一貫教育を導入したことによる成果(公立)



(出典) 中央教育審議会初等中等教育分科会学校段階間の連携・接続等に関する作業部会
「中高一貫教育制度に関する主な意見等の整理」(H23.7)

広島県における今後の高等学校教育の在り方を検討する協議会委員名簿

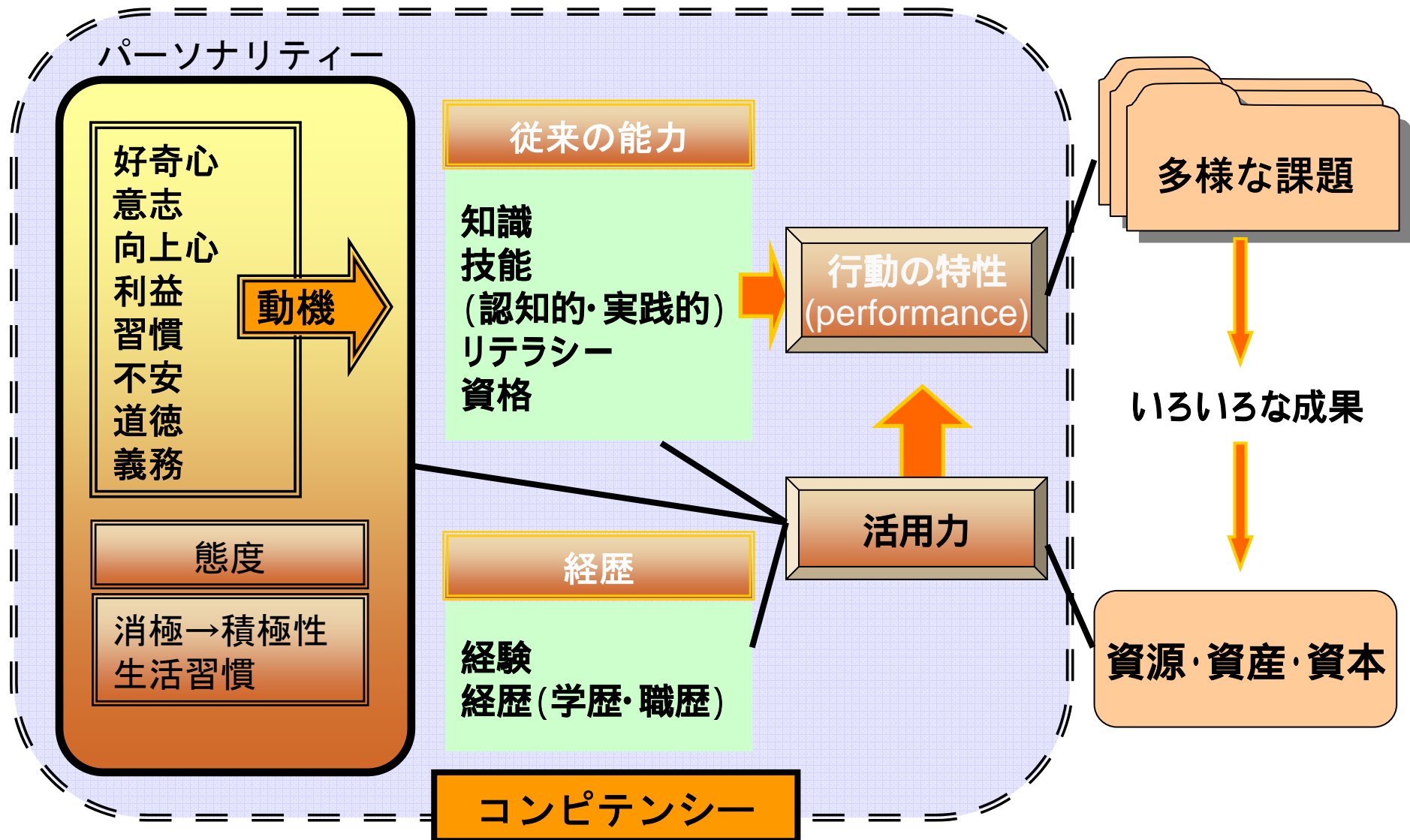
(敬称略, 五十音順)

氏 名	役 職 等	備 考
青木 暢之	株式会社中国放送代表取締役社長	
赤岡 功	県立広島大学学長	
伊藤 敬之	マツダ株式会社人事室主幹	
奥田 正和	世羅町長	平成24年11月13日から
加藤 千政	広島県PTA連合会顧問	
川野 祐二	エリザベト音楽大学学長	
吉川 信政	福山市教育委員会教育長 (広島県都市教育長会会長)	
古賀 一博	広島大学附属中・高等学校長	
小村 和年	呉市長	
牛来 千鶴	株式会社ソアラサービス代表取締役社長	
坂越 正樹	広島大学理事・副学長	会長
佐々木 寛	広島市立中広中学校長 (広島県公立中学校長会会長)	
砂原 文男	広島市教育委員会学校教育部指導担当部長	
武田 哲司	学校法人武田学園理事長 (広島県私立中学高等学校協会会長)	
寺西 玉実	絵本牧場ごんぼ館長	
富永 健三	広島県議会議員	
中川 和義	広島県指導農業士会会長	
長田 克司	オオアサ電子株式会社代表取締役社長	
西井 裕昭	株式会社西井製作所代表取締役社長	職務代理者
二見 吉康	安芸太田町教育委員会教育長 (広島県町教育長会会長)	
前 眞一郎	広島県立・園北高等学校長 (広島県公立高等学校長協会会長)	
三好 久美子	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター副代表理事	
毛利 葉	広島県高等学校PTA連合会会長	
山口 寛昭	前世羅町長	平成24年10月30日まで

広島県における今後の高等学校教育の在り方を検討する協議会スケジュール

区分	時 期	協 議 内 容
第 1 回	平成24年 4 月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本県を支える人材の育成と今後の高等学校教育の在り方について ・ 本県を内外から支える人材 ・ 生徒が高等学校で身に付けるべき力
第 2 回	平成24年 5 月31日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本県を支える人材の育成と今後の高等学校教育の在り方について ・ 高等学校教育の目指す姿
第 3 回	平成24年 7 月23日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本県を支える人材の育成と今後の高等学校教育の在り方について ・ 高等学校教育の目指す姿
第 4 回	平成24年 9 月 7 日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本県における今後の高等学校の在り方について ・ 今後求められる高等学校
第 5 回	平成24年10月15日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本県における今後の高等学校の在り方について ・ 国・公・私立高等学校の役割
第 6 回	平成24年11月26日(月)	※ 広島県における今後の高等学校教育の在り方について（中間まとめ）の検討
第 7 回	平成24年12月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本県における今後の高等学校の在り方について ・ 県立高等学校の配置の方向性
第 8 回	平成25年 1 月30日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本県における今後の高等学校の在り方について ・ 県立高等学校の配置の方向性
第 9 回	平成25年 2 月20日(水)	※ 広島県における今後の高等学校教育の在り方について（最終報告）の検討

■ 「コンピテンシー」とは



■DeSeCoによる「キー・コンピテンシー」について

コンピタンス：ある特定の文脈における複雑な要求に対し、認知的・非認知的側面を含む心理－社会的な前提条件の結集を通じて、うまく対応する能力

3つのカテゴリー	キー・コンピテンシーの具体的な内容	当該能力が必要とされる背景等
①相互作用的に道具を用いる	○言語、シンボル、テキストを相互作用的に用いる	社会や職場において十分に役割を果たしたり、他人との効果的な対話に参画する上で、核となる手段（ツール）。
	○知識や情報を相互作用的に用いる	現代社会におけるサービスや情報部門の重要性や知識経営の必要性の増大のなかで、情報や知識を双方向で使いこなす力が必須に。
	○技術を相互作用的に用いる	テクノロジーのイノベーションは、職場の内外にかかわらず個人に新しい能力を要求
②異質な集団で交流する	○他人といい関係を作る	社会の安定や統合のためだけではなく、情動知能が強調されるなど企業や経済が変化するなかで経済的に成功する上でも重要な能力に。
	○協力する。チームで動く	多くの需要や目標は一人では達成できず、グループのなかで同じ目的を共有し、協力する必要。
	○争いを処理し、解決する	家庭、職場、より大きなコミュニティで生じる紛争は、社会の現実の一側面で、人間関係に不可避の存在。
③自律的に行動する	○大きな展望の中で活動する	自律的に行動することは、社会の発展に効果的に参加するためだけではなく、職場や家庭や社会生活など人生の様々な側面のそれぞれをうまくこなす上でも必要。
	○人生計画や個人的プロジェクトを設計し実行する	
	○自らの権利、利害、限界やニーズを表明する	

(明石書店 「キー・コンピテンシー ～国際標準の学力をめざして～」等を参考に作成)

■国際社会の第一線で活躍できるグローバルリーダーを育成する教育の実施

国内トップクラス・世界水準の事例

区 分	国際バカロレア全校導入		生徒の多様性	教員の多様性	全寮制	特記事項	進学実績
	MYP	DP					
国際バカロレア	東京学芸大学附属 国際中等教育学校	—	〔 1学年:約120人 帰国生:約4割 〕	—		イマージョン授業 (中学から)	海外大学:5人 (国公立大学:24人)
	立命館宇治 中・高等学校	—	〔 1学年:約350人 (うちDPコース約50人) 帰国生:約4割 〕	(ネイティブ)教員:約2割	(寄宿舎あり)	TOEFL受検義務化 留学コース設置	海外大学:56人 (国公立大学:3人)
	加藤学園暁秀 中・高等学校	(コース設置)	(コース設置)	〔 1学年:約210人 (うちDPコース約20人) 帰国生:約1割 〕	(ネイティブ)教員:約1割		短期留学の義務化 (5年次)
全寮	海陽中等教育学校	—	〔 1学年:約120人 〕	—	(企業職員派遣)	チューター制・少人数 全人教育・しつけ教育	海外大学:15人 (国公立大学:34人)
ナショナル インター ナショナル	A S I J		(帰国生・外国人子弟)			40カ国以上が在籍	多くはアメリカの大学 (進学率ほぼ100%)
	I S A K		(海外留学生:約半数)	(世界中から採用)		少人数・秋入学 デザイン教育 UWC加盟予定	(H26.9開校予定)
世界	海外全寮制学校 (イートン校)		〔 1学年:約220人 〕			全人教育 少人数制	ケンブリッジ大・オックス フォード大 計78人
県内	広島 A I C J 中・高等学校	—	〔 1学年:約140人 (うちDPコース数人) 〕	(ネイティブ)教員:約2割	(Englishハウスあり)	ニュージーランド校 への編入可能 イマージョン授業(中学)	海外大学:3人 (国公立大学:64人)

MYP ~ Middle Years Program(11歳~16歳), DP ~ Diploma Program(16歳~19歳)

A S I J ~ American School in Japan ~ 日本初 & 最大規模のインターナショナルスクール(帰国生, 大使館関係者, アメリカ企業駐在員子弟など40カ国以上1,400人以上在籍)

I S A K ~ International School of Asia, Karuizawa ~ 少人数制・全寮制のインターナショナルスクール(ミッション:新たなフロンティアを創り出し変革を起こせるリーダーの育成)